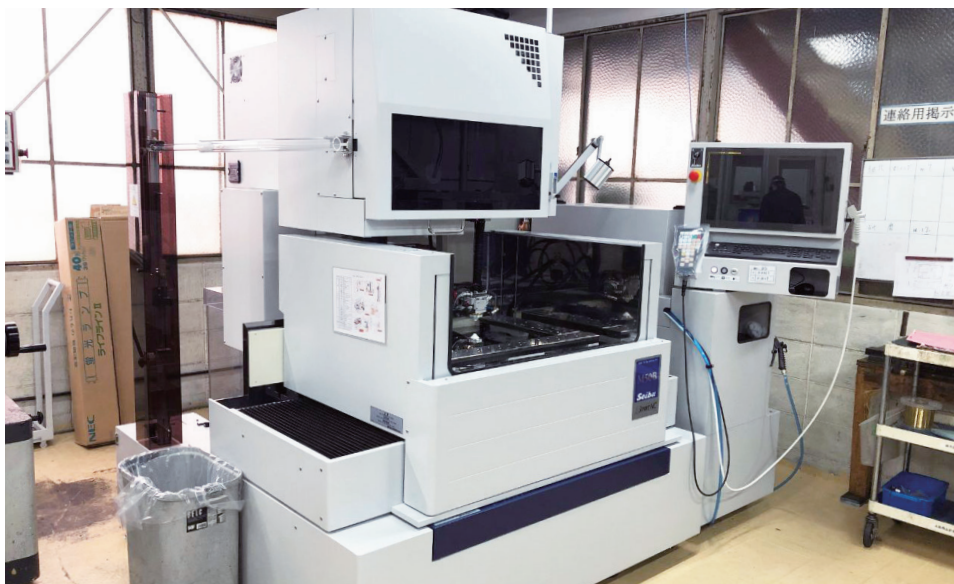


## 八田クラフト 株式会社

ワイヤカットや平面研削で  
多様な加工ニーズに対応

海外発注可  
納期相談  
企画力自信有  
コスト相談  
オンライン技術  
メイドインジャパン  
試作可  
小ロット  
量産対応



ワイヤ放電加工機は6台を保有する

## 主な事業内容

ワイヤカット、  
平面研削などの受託加工

## 主な取引先(納入先)

機械部品メーカー、  
大学などの研究機関

## 主な製品

各種金属製品

## 業務内容

金型・機械部品加工や  
試験片切り出しも

八田クラフトはワイヤ放電加工や平面研削加工、細穴放電加工など、金属製品の受託加工を主な事業としている。金属加工や金属製品製造業者からの依頼が多い。複雑かつ微細な切断が可能なワイヤ放電加工では、金型や機械部品加工のほか、試験用テストピースの切り出しなどを請け負う。平面研削加工は砥石を回転させて、加工対象物の表面を高精度に仕上げる作業で、対象物の硬さや素材、形状を問わず対応できる技術を持つ。平成27年に、金属製品の真空熱処理加工を手がける八田工業（堺市）のワイヤカット部門を分社化するかたちで設立した。

強み  
大型や長尺製品が  
加工できる設備を所有

ワイヤ放電加工機は、縦750×横500mmの範囲内での切断や、加工品の高さが400mmまで対応するなど大型や長尺ものの製品加工に必要な機種を複数所有する。また、ワイヤ線が大きく傾けて切断するテーパ加工についても「製品の大小を問わず、高い加工精度や緻密な表面粗さの仕上げが

可能」と隅谷栄三社長は話す。

近年、依頼が増えている新素材や特殊溶接材の強度検査、組織検査向けの試験用テストピースの切り出しにも対応する。試験用テストピースに求められる切り出し方法や熱影響を与えない加工ノウハウを幅広く蓄積しているのも強みだ。

独自  
自社製品の製造・  
販売にも意欲

同社は自社製品の開発にも取り組んでおり、「なましプレート」や家庭用包丁などの製造・販売も行っている。なましプレートとは、プリント基板用金型のパンチ用の材料である。プリント基板をプレス加工する際、細長い形状など、固定しにくい形状の金型を、プレス機の金型保持部分にかしめて固定する材料として開発。材料は汎用冷間ダイス鋼であるDC53を使用し熱処理を重ねることで、金型として使う面は固く、一方のかしめて固定する側は柔らかく仕上げていく。「特殊な材料のため、当社しか販売をしておらず、関東を中心に注文がある」と隅谷社長は、今後の展開に期待を寄せる。

## 社長あいさつ



代表取締役  
隅谷 栄三さん

“新しい価値の創造”を経営理念とし、“当社と関わるすべての人々に喜んでいただくこと”をモットーにしております。新しい商品を開発し、世の中に役立つ便利なものやサービスを提供するとともに、新たな雇用を生み出して地域社会に貢献できるように努力してまいります。

## 主な保有設備

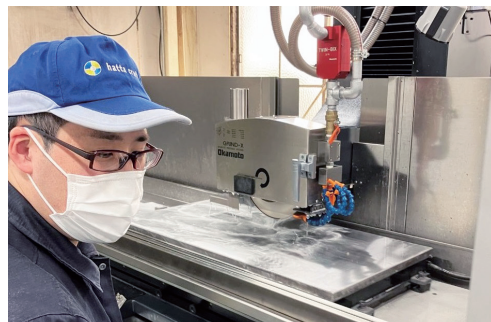
- ワイヤ放電加工機 M50B ほか西部電機製ほか 6台
- 精密平面研削盤 PSG105SA1 ほか岡本工作機械製作所製 2台
- 細穴放電加工機 RH3525三菱電機メカトロニクスエンジニアリング製 1台
- マシニングセンタ VM43Rニデックオーケー製 1台
- 三次元測定機 Crista-Plus Mミットヨ製 1台

大阪05

住 所 / 〒599-8265  
堺市中区  
八田西町2-18-41  
T E L / 072-278-7333  
F A X / 072-278-7334  
創 業 / 平成27年5月  
設 立 / 平成27年5月  
資本金 / 500万円  
従業員 / 9名



次代を担う若手人材も多い



新たに導入した平面研削機



<http://hattac.com/>